

GPEC

Greenhouse Horticulture &
Plant Factory Exhibition / Conference

施設園芸・植物工場展

**Smart
Agri
Japan**

スマートアグリ ジャパン

結果報告書

2022年7月20日(水) - 22日(金)

.....

東京ビッグサイト

南3・4ホール



目次

はじめに

1. 開催概要	2
2. 展示内容と構成	3
主な展示内容	
GPEC2022出展分野割合	
3. 出展者一覧	4
4. 会場MAP	5
5. 出展者アンケート	7
6. 来場者分析	9
来場者数	
業種別比率	
地域別比率	
7. 来場者アンケート	11
8. 併催行事	13
GPEC開会式	
GPEC主催者コーナー	
GPEC主催者セミナー	
スマートアグリ ジャパン主催者セミナー	
出展者プレゼンテーション	
9. 来場誘致	18

はじめに



一般社団法人
日本施設園芸協会
会長 大出 祐造

「施設園芸・植物工場展2022(GPEC)」は、2022年7月20日(水)から22日(金)の3日間、東京ビッグサイトにおいて開催され、成功裡に終了することができました。GPECは「施設園芸」と「植物工場」に特化した国内唯一の専門展示会として7回目の開催を数え、業界に着実に定着してまいりました。今回は、4年ぶりに開催地を東京に戻しての開催となり、企業・大学・研究機関・行政組織など、171社・団体にご出展いただきました。会期中には、コロナ感染者数が過去最多を更新するなど影響もありましたが、29,233名もの来場者をお迎えして盛大に開催することができました。

『持続可能でステキな未来型農業へ!』をテーマとして、業界の最新情報を提供するとともに、生産者の収量増加・品質向上・経営改善など、課題解決につながる展示に注力してまいりました。主催者コーナーでは、当協会が推奨する大型モデルハウスを実際の仕様で設置し、自動収穫ロボットや生育予測システムなど、テーマに沿った最新技術を展示しました。訪れた多くの方々に未来型農業を体感していただき、業界の発展を支える存在としてその役割を果たすことができたと自負しております。

会場内で実施された『主催者セミナー』では、業界のフロントランナー達による多彩なテーマの講演や、WEBを活用して海外から現地の最新動向を発信した海外講演など、大変充実したプログラムが準備され、その多くが満席となるなど盛況でした。『出展者プレゼンテーション』にも多くの出展企業が参加し、自社ブースでの説明と連携して、来場者に向けた効果的なアピールができたものと推察できました。

コロナ禍ではありましたが、展示会としての目標を達成でき、大成功だったと思っております。これもひとえに出展各社ならびに農林水産省・経済産業省等の関係省庁・団体、関係各位のご協力の賜物と改めて感謝申し上げます。

ここに、今回の結果をご報告申し上げるとともに、2年後の次回GPECに向け、より一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

1 開催概要

会期 2022年7月20日(水)～22日(金)

会場 東京ビッグサイト 南3・4ホール(10,000㎡)

開場時間 10:00～17:00

入場方法 WEB事前来場登録または招待券持参(無料)

GPEC 施設園芸・植物工場展

開催概要

- 名称** 施設園芸・植物工場展2022(GPEC) Greenhouse Horticulture & Plant Factory Exhibition / Conference
テーマ 持続可能でステキな未来型農業へ!
主催 一般社団法人 日本施設園芸協会
後援 農林水産省、経済産業省、(一社)全国農業協同組合中央会(JA全中)、全国農業協同組合連合会(JA全農)、農林中央金庫、(一社)全国農業会議所、(公社)全国農業共済協会、(株)日本政策金融公庫 (順不同)
共催 アテックス株式会社
協賛 オランダ王国大使館、イスラエル大使館 経済部、駐日本国大韓民国大使館、千葉大学 園芸学部、(国研)農業・食品産業技術総合研究機構(農研機構)、(一社)園芸学会、JA包装園芸資材協会、植物工場普及振興会、スマートアグリコンソーシアム、(一社)全国農業改良普及支援協会、全国農業高等学校長協会、全国農業資材商業会、全国農業大学校協議会、(一社)全国肥料商連合会、全国野菜園芸技術研究会、NPO法人 地中熱利用促進協会、日本園芸農業協同組合連合会、(一社)日本花き卸売市場協会、(一社)日本花き生産協会、(一社)日本果樹種苗協会、(一財)日本GAP協会、(一社)日本経済団体連合会、(一社)日本種苗協会、(一社)日本植物工場産業協会、日本生物環境工学会、(一社)日本土壌肥科学会、(一社)日本農業機械化協会、(一社)日本農業機械工業会、日本農業気象学会、(公社)日本農業法人協会、(一財)日本花普及センター、日本ばら切花協会、日本ビニル工業会、日本肥料アンモニア協会、(一社)日本有機資源協会、NPO法人 日本養液栽培研究会、(一財)日本立地センター、(株)農協観光、農業施設学会、農業データ連携基盤協議会、(一社)農業電化協会、農薬工業会、(一財)ヒートポンプ・蓄熱センター、野菜流通カット協議会、青果物選果予冷施設協議会 (順不同)
出展者数 国内外163社・団体(共同出展を含む)

GPEC2022実行委員

委員長 丸尾 達 (公社)園芸植物育種研究所 理事長	渡辺 正徳 全国農業協同組合連合会 耕種資材部 資材課長
大出 祐造 (株)誠和 取締役会長	久保田光昭 アキレス(株) 農業資材販売部 部長
安井 一郎 AGCグリーンテック(株) 会長	近藤 了裕 (株)サカタのタネ 執行役員
福田 晴久 ネボン(株) 代表取締役社長	大賀 泰光 タキロンシーアイ(株) アグリ事業部 事業部長
三浦 慎一 トヨタネ(株) 取締役 執行役員	古田 幹雄 フルタ電機(株) 最高顧問
五十嵐武彦 サンキンB&G(株) 取締役 農芸事業部 事業部長	福嶋 正人 ヤンマーアグリ(株) 経営企画部 専任部長
小嶋 康広 渡辺パイプ(株) 執行役員 グリーン事業部長	狩野 光博 三菱ケミカルアグリドリーム(株) 取締役社長
金井 敏樹 カネコ種苗(株) 顧問	林 真紀夫 東海大学 名誉教授
河合 雅孝 イノチオアグリ(株) 執行役員 営業本部長	有光 大幸 有光工業(株) 常務取締役
篠原 温 千葉大学 名誉教授	中村 謙治 エスベックミック(株) アグリ事業部 本部長
渋谷 忠宏 全国野菜園芸技術研究会 会長	増澤 佳浩 クボタアグリサービス(株) 農業施設部 部長補佐
津川 修一 (株)大仙 常務取締役 営業事業部長	高山弘太郎 豊橋技術科学大学大学院工学研究科 教授
小堀 武光 東都興業(株) 常務取締役 営業本部長	東出 忠樹 農研機構 野菜・花き研究部門 研究推進部長

(順不同・敬称略・役職は2021年9月時点)

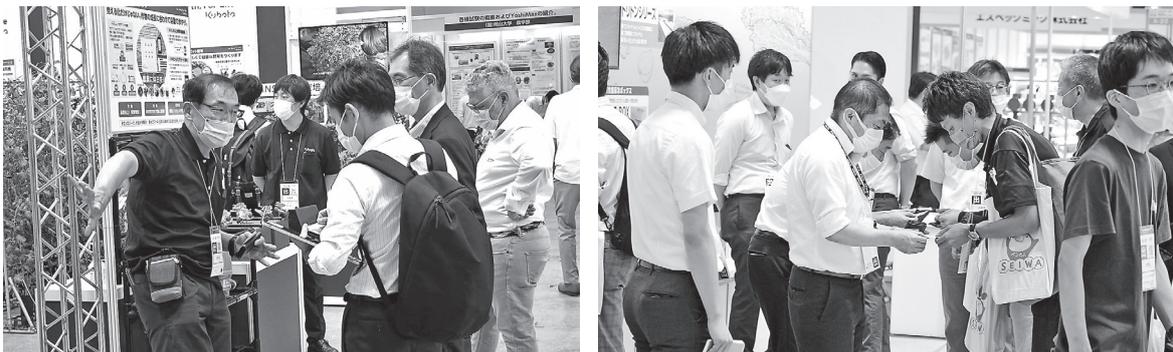
同時開催展



スマートアグリ ジャパン

開催概要

- 名称** スマートアグリ ジャパン2022
主催 スマートアグリコンソーシアム
共催 (一社)日本施設園芸協会/アテックス(株)
出展者数 国内外8社・団体



② 展示内容と構成

主な展示内容

GPEC 施設園芸・植物工場展

施設本体・資材



ハウス・太陽光利用型植物工場(栽培施設・資材)

ハウス本体、ハウス構成部材・部品、外張・内張フィルム(農ビ、農PO、フッ素フィルム、硬質板 など)、保温・遮光資材、防虫・防風・防獣ネット、防草シート、被覆材構成部材・部品



人工光型植物工場(栽培施設・資材)

植物工場本体、植物工場本体構成部材・部品

付帯設備・機器



施設園芸用

カーテン装置、自然換気・強制換気装置(天窓、側窓、谷窓、妻窓、換気扇、循環扇など)、局所加温装置、冷・暖房装置(自然エネルギー等含む)、光合成促進装置(炭酸ガス発生装置など)、灌水・散水装置、防除・土壌消毒装置(動力噴霧機、無人防除機 など)、養液栽培・養液土壌栽培装置、栽培ベッド、果樹棚装置、栽培ベンチ装置(移動ベンチ など)、補光装置(電照装置を含む)、収穫機器・運搬資材、ファインパブル発生装置、ハウス清掃用品・洗浄機、その他 付帯設備・機器・装置



植物工場用(太陽光利用型・人工光型)

光環境装置(LED、蛍光/冷陰極/無電極ランプ など)、給排水処理プラント装置、空調システム、栽培ベッド、栽培ベンチ装置(移動ベンチ など)、収穫機器・運搬資材、その他 付帯設備・機器・装置

生産管理機器・資材



種苗、育苗資材、育苗システム

種子・種苗、接木・育苗関連資材、生育状況観察システム、播種機、鉢 など



肥料、農薬、受粉・天敵昆虫、IPM

有機質・無機質肥料、液体肥料、植物活性剤、除草剤、ミツバチ、天敵昆虫・生物、土壌改良剤、土壌診断サービス、殺虫剤、消毒剤、消毒サービス など



農業ICT

IoT、AI、クラウドサービス、生産管理システム、栽培管理システム、遠隔監視システム、端末機器、ビッグデータ解析技術 など



環境制御装置・技術

光量・温度・湿度・CO₂・風量センサー、土壌成分計測システム、養液管理システム、その他各種センサー、タイマー、計測・制御システム、自動機器 など

特設ゾーン



流通・加工

計量機、梱包機、選果機、選別機、洗浄機、異物検出・除去装置、包装機器・資材、搬送器具、搬送機械、温度管理システム、流通システム、集出荷施設、集出荷機器・資材、予冷施設・機器、貯蔵庫・施設、乾燥機、加工施設、加工機器・資材 など

集中展示ゾーン



生産者のための 省エネ・クリーンエネルギー

太陽光発電システム、省エネ型ヒートポンプ、バイオマスボイラー、再生可能エネルギーシステム、燃料高騰対策製品 など



生産者のための 労務管理、経営サポート、リース・融資

労務・経営管理ソフトウェア/アプリ、リース業、金融機関、6次産業化プランナー、観光農園事業コンサルタント、その他農家向けサイドビジネス(自家発電・売電事業、アフィリエイト) など

その他



省力化・サポート機器

アシストスーツ、サポートウェア・機器、自動化機器・ロボット(播種機、施肥機、収穫機、箱詰め機) など



自治体・団体

自治体、海外大使館、次世代施設園芸拠点、その他の農業関連団体 など



災害・熱中症対策

熱中症対策、共済 など



メディア・書籍

新聞社、出版社、インターネットメディア など



スマートアグリジャパン

自動化・省力化機器

各種農業ロボット/自動芝刈り機・ロボット

先端要素技術

各種センサー/画像認識技術

栽培・育成管理システム

栽培管理/環境制御機器/圃場灌水管理

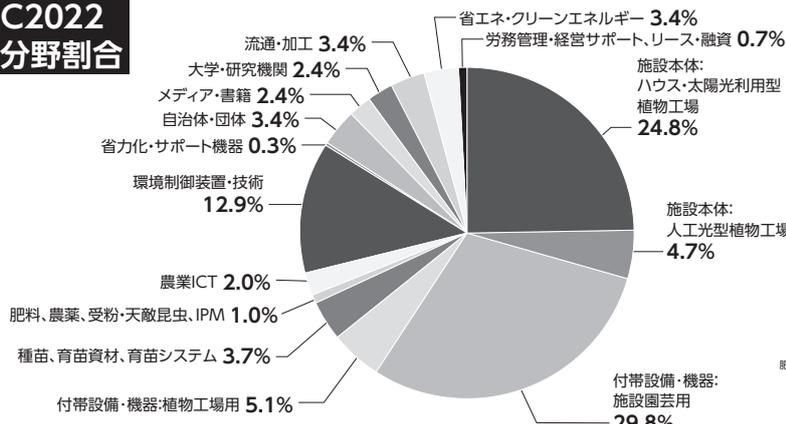
営農支援サービス

労務管理/データ活用

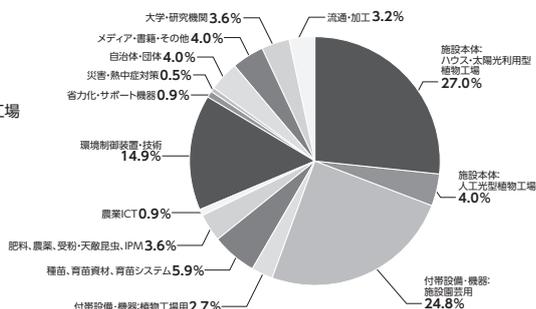
出展分野割合 (小間数ベース)

※同時開催展含む

GPEC2022 出展分野割合



GPEC2021 出展分野割合



3 出展者一覧

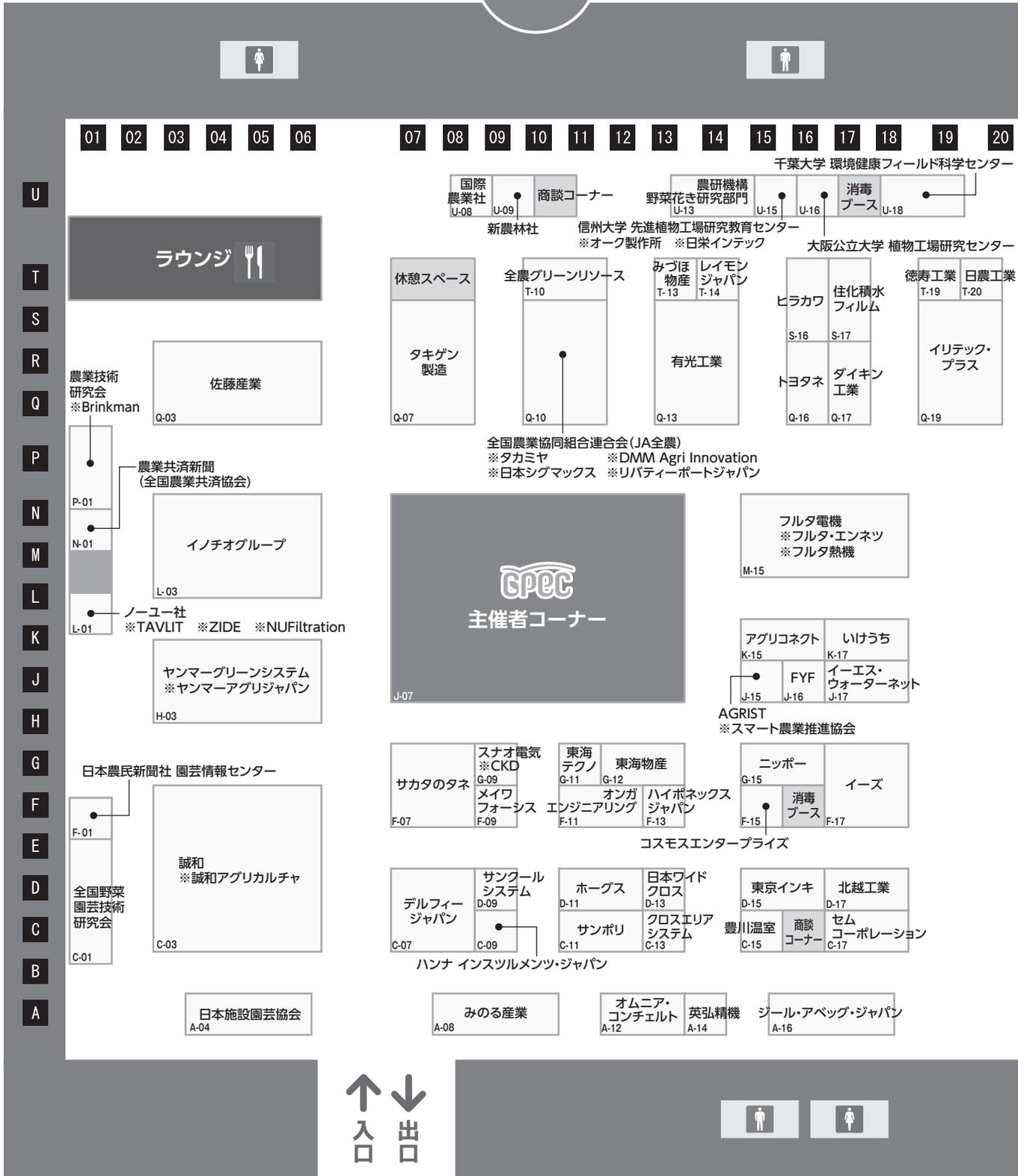
社名50音順、海外企業は末尾
※共同出展、同時開催展を含む

あ	アイエスエイ	T-33	
	IT工房Z	J-20	
	アキレス	A-27	
	アグリコネク	K-15	
	アグリジャーナル	U-24	
	AGRIST	J-15	
	※スマート農業推進協会		
	アグリベース四万十	K-26	
	アサヒ繊維工業	N-32	
	有光工業	Q-13	
	アンタック	J-26	
	イーエス・ウォーターネット	J-17	
	イーズ	F-17	
	いけうち	K-17	
	井関農機	C-20	
	※愛媛大学植物工場研究センター		
	イノチオグループ	L-03	
	イノベックス	G-24	
	イリテック・プラス	Q-19	
	インフォファーム	Q-31	
	英弘精機	A-14	
	AGCグリーンテック	Q-25	
	SMC	M-35	
	エスペックミック	A-20	
	NTTテクノクロス	N-34	
	FYF	J-16	
	オーケープランニング	G-34	
	大阪公立大学植物工場研究センター	U-16	
	オカモト	F-27	
	岡山大学 農学部	U-23	
	※三基計装		
	オネスト	T-31	
	オムニア・コンチェルト	A-12	
	オンガエンジニアリング	F-11	
	か	カネコ種苗	J-27
		キーフェル	G-33
		木楽創研	T-25
		クボタ	Q-22
		※クボタアグリサービス	
		グリーンテックアンドロボ	F-26
		※トヨタ紡織	
		クロスエリアシステム	C-13
恵葉&菜 健康野菜		D-26	
高知県庁		J-21	
国際農業社		U-08	
コスモスエンタープライズ		F-15	
小林クリエイト		C-24	
※トヨタ紡織			
さ		サカタのタネ	F-07
		佐藤産業	Q-03
		サンキンB&G	F-28
		サンクルシステム	D-09
		三相電機	A-26
		サンボリ	C-11
		シーシーエス	D-24
		GPF	A-24
	ジール・アベッグ・ジャパン	A-16	
	清水種苗	M-33	
	ジャパンドームハウス	D-22	
	ジャパンマグネット	F-24	
	信州大学 先進植物工場研究教育センター	U-15	
	※オーク製作所		
	※日栄インテック		
	新農林社	U-09	
	スナオ電気	G-09	
	※CKD		
	住化積水フィルム	S-17	
	青果物選果予冷施設協議会	F-32	
	誠和	C-03	
	※誠和アグリカルチャ		
	セムコーポレーション	C-17	
	セラク	S-33	
	全国農業協同組合連合会 (JA全農)	Q-10	
	※タカミヤ		
	※DMM Agri Innovation		
	※日本シグマックス		
※リパティールポートジャパン			
全国野菜園芸技術研究会	C-01		
全農グリーンリソース	T-10		
た	ダイキン工業	Q-17	
	大仙	Q-30	
	ダイヤテックス	K-24	
	大和ハウス工業	C-28	
	※三協立山		
	高田種苗/ライク・ズワーン社	M-30	
	※ライク・ズワーン社		
	タキゲン製造	Q-07	

な	千葉大学 環境健康フィールド科学センター	U-18
	デルフィー・ジャパン	C-07
	デンソーアグリテックソリューションズ	J-24
	※デンソー	
	※Certhon Build B.V.	
	東海テック	G-11
	東海物産	G-12
	東罐興産	F-20
	※TOMATEC	
	※鋼鋸商事	
	※日本トーカーパッケージ	
	東京インキ	D-15
	東都興業	M-24
	東洋紡/東洋紡STC	D-20
	※グローアンドグロー ベジブー小浜植物工場	
	徳寿工業	T-19
	トミタテック/ロジール	G-20
	※プリパ社	
	※リッシェル社	
	豊川温室	C-15
	トヨタネ	Q-16
	日農工業	T-20
	日建リース工業	F-30
	ニッポー	G-15
	日本施設園芸協会	A-04
	日本植物工場産業協会	C-27
	日本農林新聞社 園芸情報センター	F-01
日本養液栽培研究会	U-21	
日本ワイドクロス	D-13	
ネボン	J-30	
農業技術研究会	P-01	
※Brinkman		
農業共済新聞(全国農業共済協会)	N-01	
農研機構 農業機械研究部門	U-30	
農研機構 野菜花き研究部門	U-13	
農山漁村文化協会	U-28	
農林水産省	U-27	
ノユー社	L-01	
※TAVLIT		
※ZIDE		
※NUFiltration		
のむら産業	G-32	
※エスケイ工業		
※Luxor solar		
は	ハイボネックスジャパン	F-13
	パナソニック ライティングデバイス	T-26
	パリティック新潟	T-22
	ハンナ インスタツルメンツ・ジャパン	C-09
	ヒラカワ	S-16
	farmo	J-22
	福井シード	N-30
	ブリッグス・アンド・ストラットン・ジャパン	Q-33
	フルタ電機	M-15
	※フルタ・エンネツ	
	※フルタ熱機	
	フローラ	N-33
	ベストクロープ	M-34
ホーグス	D-11	
北越工業	D-17	
ホリアキ	F-33	
ま	三菱ケミカルアグリドリーム	N-20
	※三菱ケミカルアグリア・ソリューションズ	
	みつほ物産	T-13
	みのる産業	A-08
	明治大学 植物工場基盤技術研究センター	U-26
メイワフォーシス	F-09	
や	ヤンマーグリーンシステム	H-03
	※ヤンマーアグリジャパン	
	ユニテックフーズ	M-32
ユビキタス環境制御システム研究会	U-22	
ら	レイモンジャパン	T-14
	渡辺パイプ	Q-28
わ	※渡辺パイプベトナム	
	エースビュー	S-31
海外	Korea Agricultural Machinery Industry Cooperative (KAMICO)	C-30
	※CHUNG-OH ENGINEERING	
	※SHINAN GREEN TECH	
	※JEONG-IL GLOCHEM	
	※HWASUNG	
	※SHINHAN A-TEC	
	※HANSOL AGRO-MATERIALS	
	※YUK IL	
	※TAEKWANG A-TEC	
	※UBN Corporation	

4 会場MAP

南3



南4



21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35

岡山大学 農学部 ※三基計装

日本養液栽培研究会 U-21
 アグリジャーナル U-24
 農林水産省文化協会 U-27
 農山漁村文化協会 U-28
 ユビキタス環境制御システム研究会 明治大学植物工場基盤技術研究センター

農研機構 農業機械研究部門 U-30

バリテック新潟 T-22
 休憩スペース
 クボタ ※クボタアグリサービス Q-22
 パナソニックライティングデバイス T-25 T-26
 商談コーナー
 AGC グリーンテック Q-25
 渡辺パイプ ※渡辺パイプベトナム Q-28

オネスト T-31
 エースビュー S-31
 インフォファーム Q-30
 アイエスエイ T-33
 セラク S-33
 セミナーテキスト販売所
 ブリッグス・アンド・ストラットン・ジャパン

主催者セミナー
会場 A

三菱ケミカルアグリドリーム ※三菱ケミカルアクア・ソリューションズ

N-20 商談コーナー
 東都興業 M-24

アサヒ繊維工業
 福井シード N-30
 フローラ N-32 N-33
 NTTテクノクロス N-34
 清水種苗 M-30 M-32 M-33
 ベストクロップ M-34

SMC M-35

IT工房Z J-20
 高知県庁 J-21
 farmo J-22
 デンソーアグリテックソリューションズ ※デンソー ※Certhon Build B.V.
 アンタック J-24 J-26 J-27
 ダイヤテックス K-24
 商談コーナー
 カネコ種苗

高田種苗/ライク・ズワーン社 ※ライク・ズワーン社

ユニテックフーズ
 ネポン J-30

出展者
プレゼンテーション
会場

トミタテクノロジ ※プリバ社 ※リッセル社 G-20
 東産興産 ※TOMATEC ※鋼板商事 F-20
 ※日本トーカーパッケージ J-24
 イノベックス G-24
 休憩スペース
 サンキンB&G
 ジャパンマグネット F-26
 オカモト F-27 F-28

のむら産業 ※エスケイ工業 ※Luxor solar

キーフェル
 オーケープランニング
 日建リース工業 G-30
 G-32 G-33 G-34
 ホリアキ F-30 F-32 F-33

主催者セミナー
会場 B

東洋紡/東洋紡STC ※グローアンドグロー ベジグー小浜植物工場
 ジャパンドームハウス D-20 D-22
 シーシーエス D-24
 大和ハウス工業 ※三協立山 D-26
 休憩スペース C-24 C-27 C-28
 井関農機 小林クリエイト 日本植物工場産業協会 ※愛媛大学植物工場研究センター ※トヨタ紡織

青果物選果予冷施設協議会

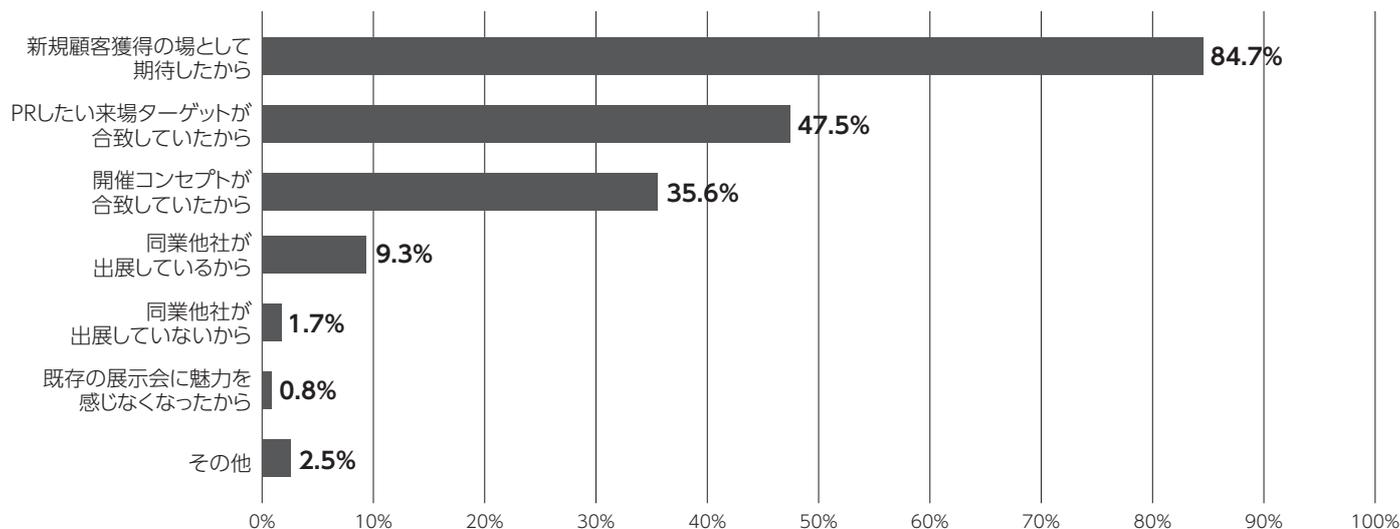
KAMICO ※CHUNG-OH ENGINEERING ※SHINAN GREEN TECH ※JEONG-IL GLOCHEM ※HWASUNG ※SHINHAN A-TEC ※HANSOL AGRO-MATERIALS ※YUK IL ※TAEKWANG A-TEC ※UBN Corporation

エスペックミック A-20
 GPF A-24
 三相電機 A-26
 アキレス A-27

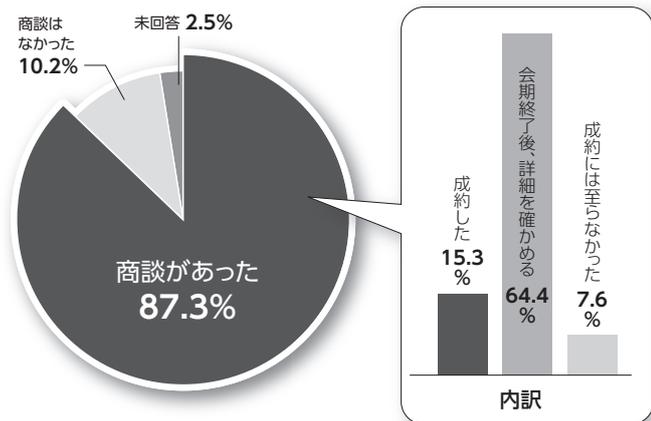


⑤ 出展者アンケート

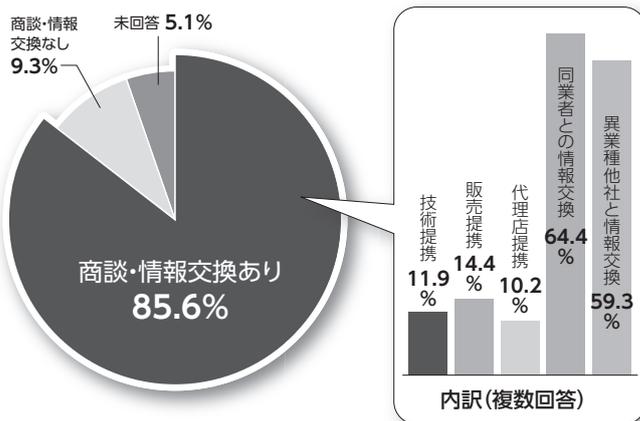
Q1 今回ご出展の理由は？(複数回答)



Q2 会期中における来場者との商談は？



Q3 他の出展者との商談・情報交換は？



来場者との商談は8割を超えている。GPECへの出展をきっかけに、来場者との間で多くの交流が生まれており、ビジネスチャンスをつかむ絶好の機会となっている。
また、出展者同士でも活発な交流が行われており、業務提携や業界交流で新たなビジネスの創出にも繋がっている。

出展者の感想

良かった点



- ★東京開催で、期待以上の来場者がブースに来てくれた。
- ★来場者層・質が高く、全国の農業生産者と商談することができる。
- ★施設園芸、植物工場に特化していて、来場ターゲットが絞れるので、効率的に商談できる。
- ★他展と比較して生産者の来場数が多いと思う。
- ★業界随一の展示会であり、出展の効果が見えやすい。
- ★業界での知名度が高く、入場者数、集客力が良い。
- ★幅広い農業関係者が来場するので、ビジネスに繋がる新しい出会いがある。
- ★同業他社との交流・意見交換ができるので、多様な情報が集まる。
- ★自社製品の強みをユーザーへ直接アピールできる場である。
- ★全国の生産者から、現場の生の声を聞くことができる。
- ★感染症対策が徹底されていて、安心して参加できた。
- ★展示会のテーマや目的が明確で、自社の事業に合致している。
- ★事務局が柔軟に対応してくれた。

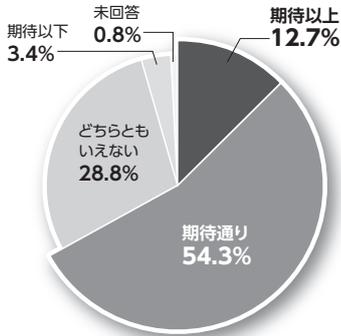
改善すべき点



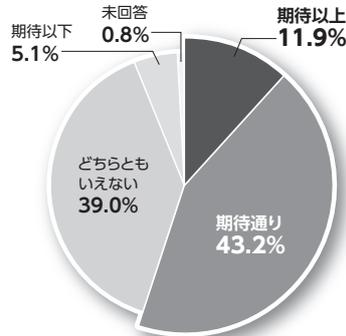
- コロナ禍で仕方ないが、出展・来場ともに、規模が大きくなると尚良い。
- 来場者と商談ができるスペースが少なかった。
- 来場者の流れが悪い場所があり、ブースへの訪問者数へ影響する。レイアウトを工夫してほしい。
- スマートアグリ ジャパンも出展者を増やしてほしい。
- 会場ホールの場所がわかりづらかったので、案内の徹底を。

Q4 今回の出展に対する評価は？

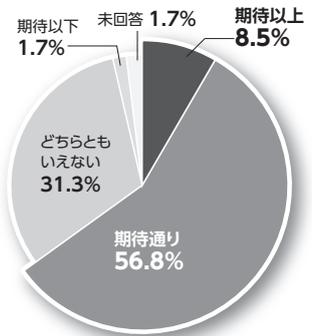
有益な商談の場として



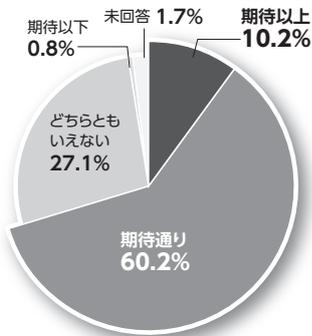
新規顧客獲得の場として



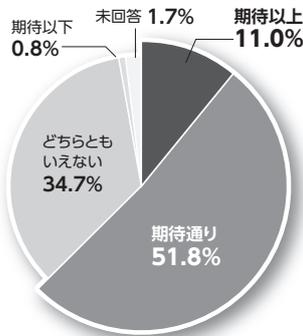
既存客へのアピールの場として



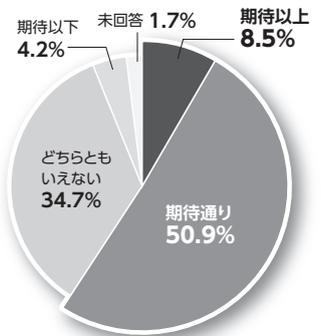
販促・PRの場として



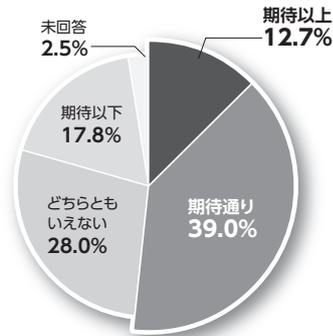
製品・技術に対する
意見収集・情報交換の場として



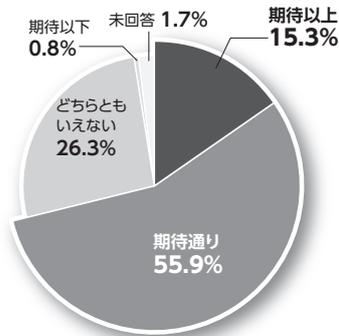
貴社ターゲット層と
来場者層の合致について



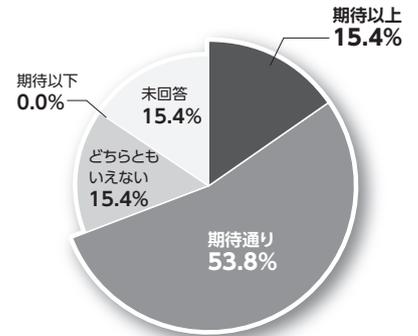
貴社ご出展ブースへ
のご来場者数について



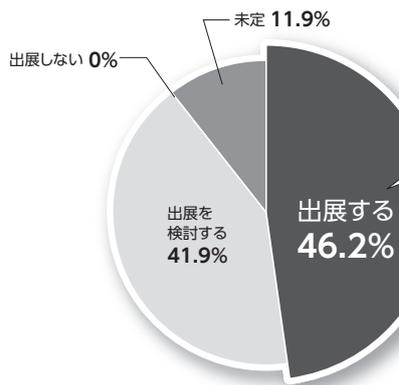
貴社ブースでの来場者の反応は



出展者プレゼンテーションの
反響について(実施企業のみ)



Q5 次回の出展参加について



小間数を増やす 6.4%

今回同様 39.0%

小間数を減らす 0.0%

未回答 0.8%

内訳

POINT

全体のおよそ9割が、次回の開催に向けて、出展に前向きな回答をしている。継続しての出展を決めている企業も多く、次回の展示規模拡大が見込まれる。

⑥ 来場者分析

会期3日間で登録者数は、11,013名、来場者数は、29,233名となった。新型コロナウイルスの感染者数が連日過去最多を更新するなどの影響もあり、コロナ禍以前の来場者数水準には

及ばなかったものの、課題解決や情報収集など明確な目的を持った来場者が多く訪れ、活発な交流と商談が行われた。

来場者数

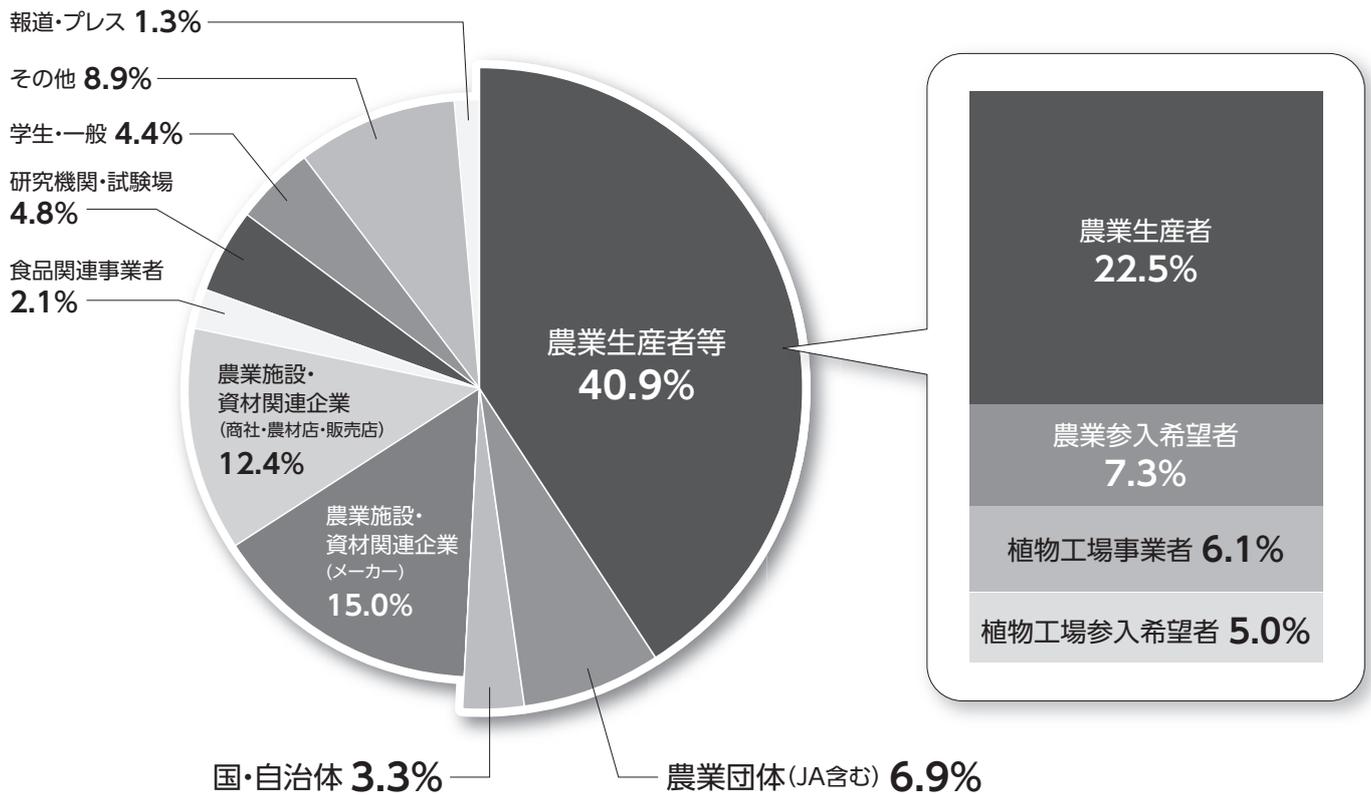
日付	天気	登録者数	来場者数
7月20日(水)	晴れ	3,292	8,312
7月21日(木)	晴れ	3,986	10,662
7月22日(金)	雨のち晴れ	3,735	10,249
合計		11,013	29,223

*登録者数：氏名・会社名等の来場登録を行った人数。会期中1カウントとし、再入場は含まない。

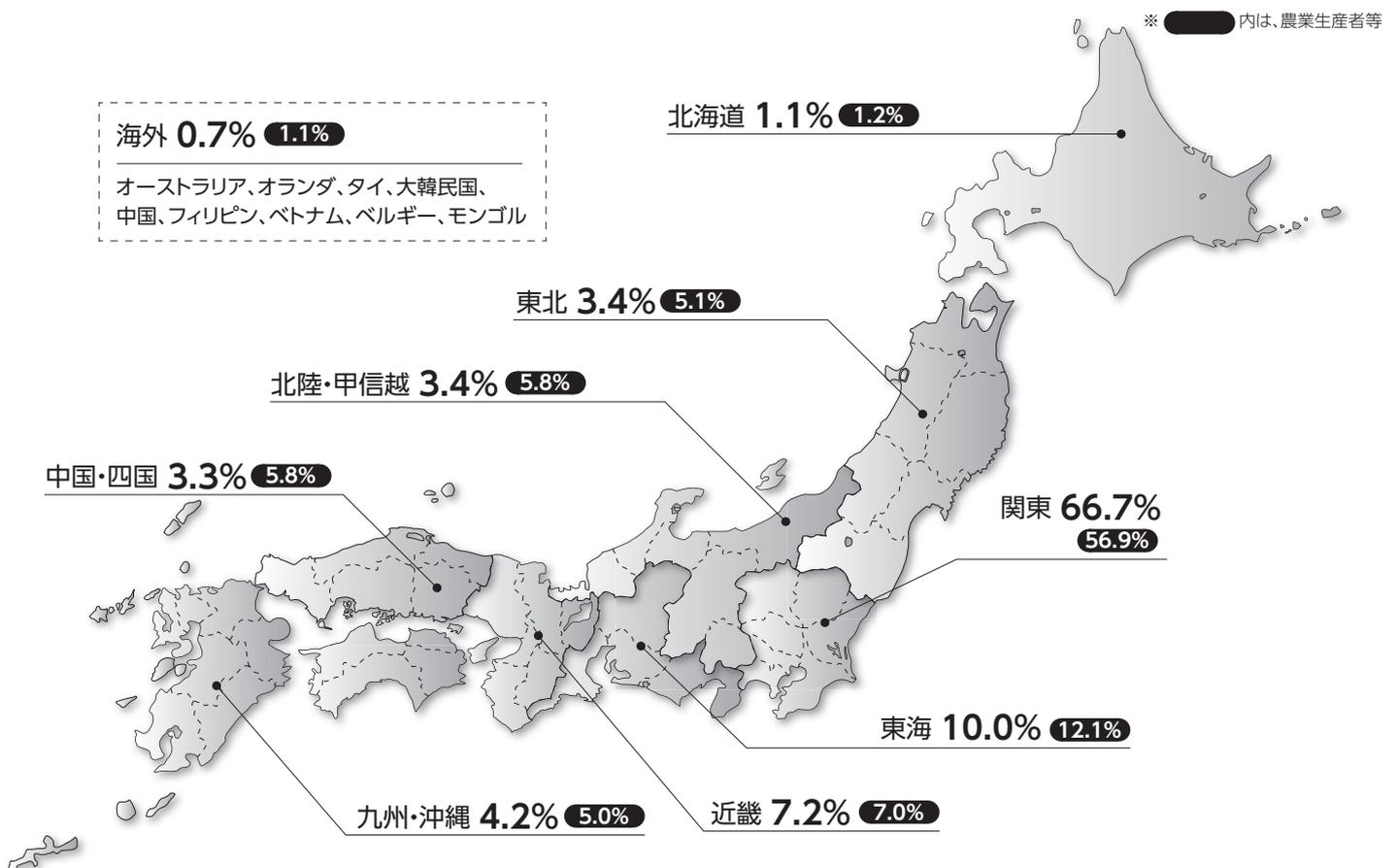
*来場者数：来場した延べ人数(再入場を含む)



業種別比率

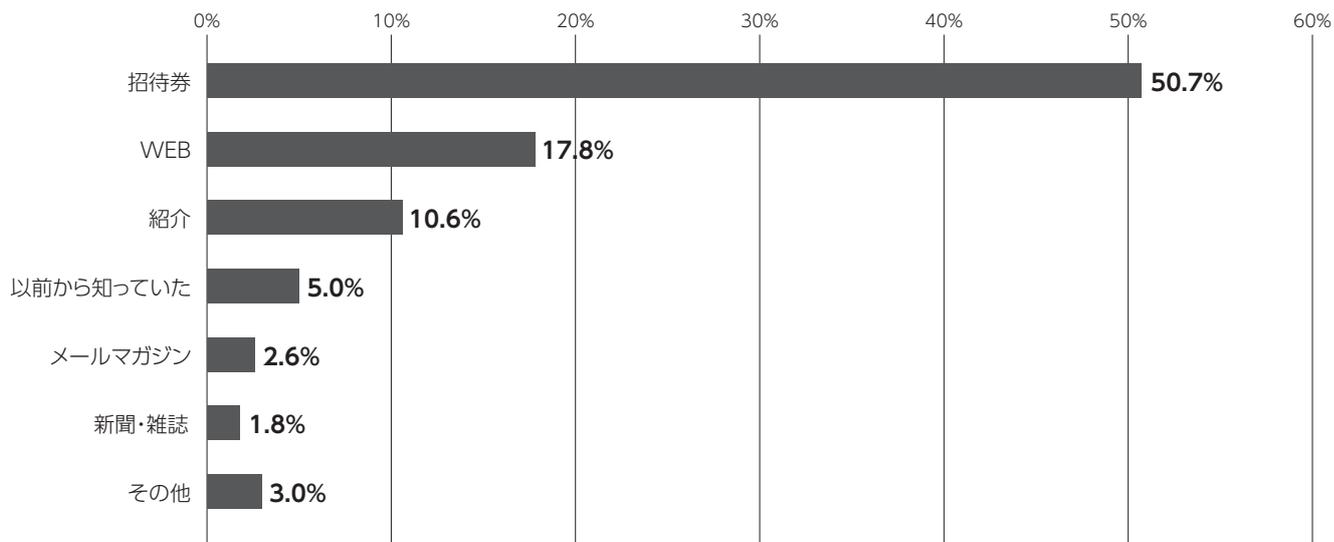


地域別比率

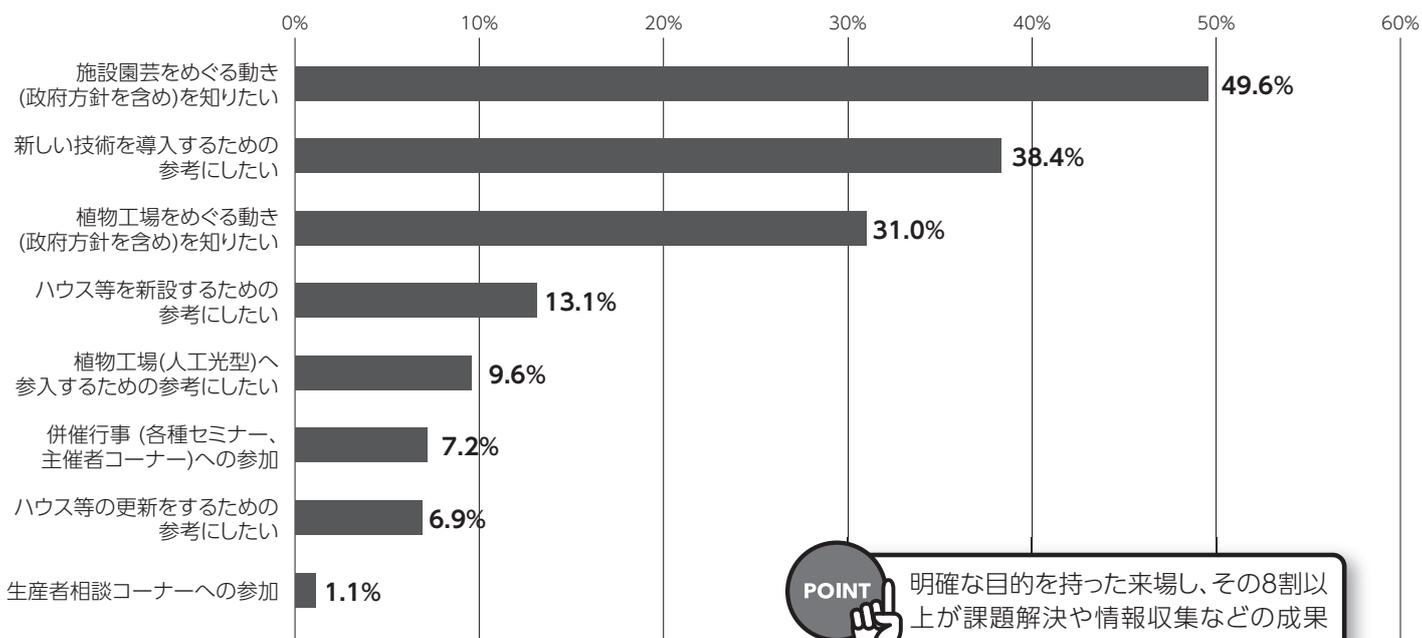


⑦ 来場者アンケート

Q1 本展を何を通じて知りましたか？ (複数回答)

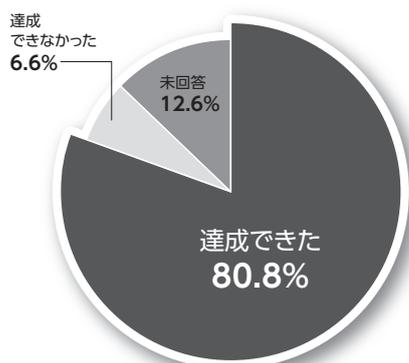


Q2 本展に来場された目的は？ (複数回答)

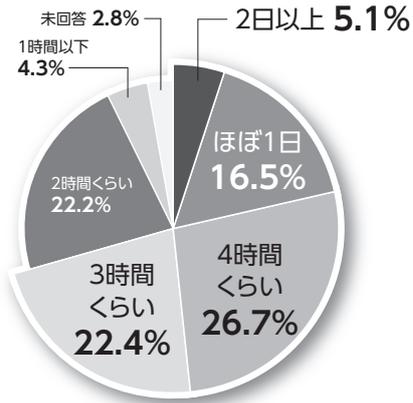


POINT 明確な目的を持った来場し、その8割以上が課題解決や情報収集などの成果を持ち帰り、来場目的を達成している。

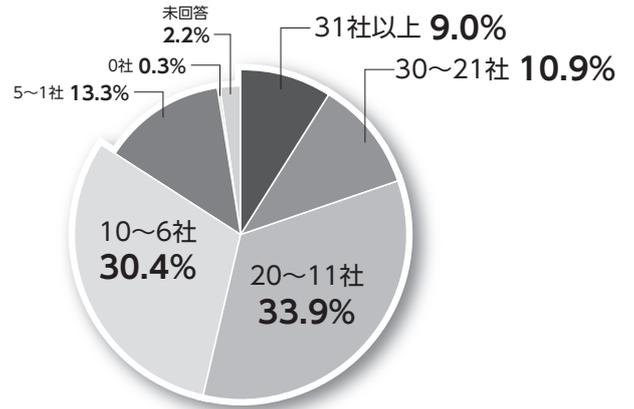
Q3 ご来場の目的は達成されましたか？



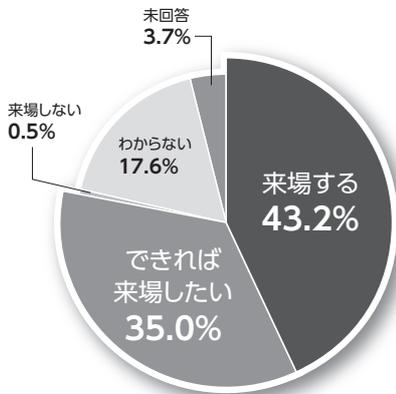
Q4 会場での滞在時間は？



Q5 会場での訪問社数は？



Q6 次回の来場予定は？



POINT

来場者の多くが、新しい技術や情報を求めて次回も来場を予定しており、期待の高さがうかがえる。



来場者のコメント

良かったところ

- ★資材・種苗など、分野が分かれていて視察しやすかった。【農業生産者】
- ★最新の設備・施設や、業界動向を知ることができた。【農業生産者】
- ★最新技術の開発動向がとても参考になった。【農業生産者】
- ★多くの企業が出展しており、各社製品の特長を比較することができた。【農業生産者】
- ★関心があった製品の実物を見ることができた。【農業生産者】
- ★分野に特化していて、専門性がある。【農業生産者】
- ★施設園芸について様々な観点から知ることができた。【農業参入希望者】
- ★現場の課題解決につながる資材を見つけることができた。【植物工場事業者】

- ★植物工場に関する情報が集約されていた。【植物工場参入希望者】
- ★コロナ禍でもこれだけの企業が揃って開催してくれた。【農業団体(JA含む)】
- ★WEBや招待券で展示内容が事前にわかり、会場を回りやすかった。【国・自治体】
- ★今後の製品開発の参考になる情報を知ることができた。【農業施設・資材関連企業(メーカー)】
- ★多数の企業と商談ができて、有益な機会だった。【農業施設・資材関連企業(商社・農材店・販売店)】
- ★どのブースも展示内容や説明が分かりやすかった。【農業施設・資材関連企業(商社・農材店・販売店)】
- ★農業へ参入するための情報収集ができた。【食品関連事業者】
- ★幅広い知見の収集に役立った。【研究機関・試験場】

次回への要望

- 製品の比較ができるように、もっと多くの企業に展示してほしい。【農業生産者】
- 肥料や農薬に関する展示や、情報を知りたい。【農業生産者】
- 常に満員で説明が受けられないブースがあったので、説明員を増やしてほしい。【農業団体(JA含む)】

- 海外の製品や動向に関する情報をもっと欲しい。【農業施設・資材関連企業(商社・農材店・販売店)】
- 小規模向けのハウスメーカーにも出展してほしい。【食品関連事業者】
- 農業ロボットや、最先端のスマート技術を駆使した展示を見たい。【一般・学生・その他】

8 併催行事

GPEC開会式

日時 2022年7月20日(水) 9:30~10:00

会場 展示ホール内 セミナー会場B

1. 開会の辞

2. 来賓紹介

農林水産省 生産振興審議官 安岡 澄人 様
経済産業省 経済産業政策局 地域経済産業グループ
地域経済産業政策統括調整官 吉田 健一郎 様
(一社)全国農業協同組合中央会 農政部長
生部 誠治 様
全国農業協同組合連合会 耕種資材部 次長
鈴木 富隆 様
農林中央金庫 営業企画部 部長 熊倉 竜也 様
(一社)全国農業会議所 専務理事 柚木 茂夫 様
(公社)全国農業共済協会 常務理事 徳井 和久 様
(株)日本政策金融公庫 農林水産事業本部 特別参与
倉田 光生 様

3. 主催者紹介

(一社)日本施設園芸協会 会長 大出 祐造
前会長 鈴木 秀典
顧問 篠原 温

GPEC2022実行委員長

(公社)園芸植物育種研究所 理事長 丸尾 達

4. 主催者挨拶

(一社)日本施設園芸協会 会長 大出 祐造

5. 来賓挨拶

農林水産省 生産振興審議官 安岡 澄人 様
経済産業省 経済産業政策局 地域経済産業グループ
地域経済産業政策統括調整官 吉田 健一郎 様

6. テープカット



GPEC主催者コーナー

◎日本型大型モデルハウス展示

展示協力：イノチオグループ

日本施設園芸協会が推進する「日本型大型(1 ha)モデルハウス実証・支援事業」のモデルハウスと、自動収穫ロボットや生育予測システムなど、テーマに沿った最新技術を展示し、来場者からの関心が寄せられた。



ピーマン自動収穫ロボット

展示協力：AGRIST(株)

2022年秋から実用化されるピーマンの自動収穫ロボットの実機展示と実演を行った。

生育・収量予測 モニタリングシステム

展示協力：農研機構 農業機械研究部門

AIを活用して収穫果数や収穫作業時間を予測する自動走行式着果モニタリングシステムの実機展示と実演を行った。

● 賛同支援会員ブース展示

日本型大型(1 ha)モデルハウスの普及と、低コスト化に向けた取り組みを推進する賛同支援会員の製品・サービスや取り組みなどを紹介。

展示協力

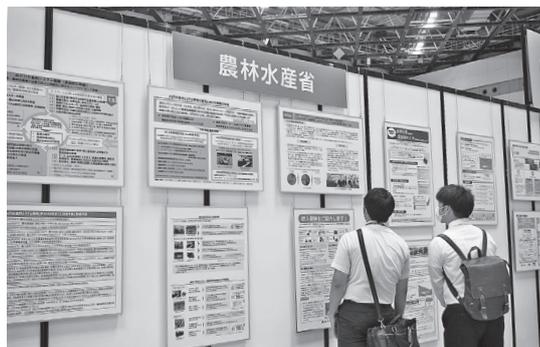
イノチオグループ、(株)大仙、トヨタネ(株)、(株)山本産業、東都興業(株)、(株)誠和、ネポン(株)、フルタ電機(株)、三菱ケミカルアグリドリーム(株)、タキロンシーアイ(株)、AGCグリーンテック(株)、日本ロックウール(株)、福井シード(株)

● 政府・公庫・融資コーナー

政府機関による、農業分野の施策や取り組み事例、今後の業界指針や、生産者にとって重要な公庫・融資・共済情報のパネル展示をおこなった。

展示協力

農林水産省、経済産業省、農林中央金庫、(株)日本政策金融公庫、(公社)全国農業共済協会



● 生産者相談コーナー

5つのテーマのスペシャリストが、生産者・農業参入希望者の悩み・課題について、助言・提案を行った。

相談テーマ

テーマ	7月20日(水)	7月21日(木)	7月22日(金)
①補助金等	農林水産省 園芸作物課 担当官		
②栽培技術	吉岡技術士事務所 代表 高崎健康福祉大学 農学部 教授	吉岡 宏氏 荒木 陽一氏	
③養液栽培・植物工場	NPO法人日本養液栽培研究会 担当者 (株)デルフィージャパン 担当者		
④公庫・融資	(株)日本政策金融公庫 担当者	農林中央金庫 担当者	JA三井リース(株) 担当者
⑤スマートグリーンハウス	スマートグリーンハウス事業 担当委員		



相談内容と回答

(一部抜粋)

- Q1: イチゴの水耕栽培(DFT)完全人工光で、1kg/株の実績があるが、2kg/株まで収量を増やしたい。【植物工場事業者】
A1: 光が重要であることを説明。症状への対策方法を助言し、有識者を紹介した。
- Q2: 葉色の管理方法(黄色っぽくなるのを早めに知る方法、早めに直す方法)【農業生産者】
A2: 培養液に空気を送って酸素欠を予防する。現状の栽培で、どれくらいの期間で、どれくらい培養液組成がずれるのかを把握する必要がある。
- Q3: イチゴ植物工場の生育改善について【植物工場事業者】
A3: 栽培条件を確認して、それぞれの症状に対する具体的な対策方法を提案。品種選択の重要性も説明。
- Q4: 太陽光利用型植物工場で、スモモ・ブドウなどの果樹栽培をしたい。【農業参入希望者】
A4: 植物工場は投資も大きい。周年栽培・周年収穫できる作物の方が、事業化の可能性が高い。適地での露地栽培も含めて、コストを検討。
- Q5: 現在、稲作をしており、今後施設園芸を始めたい。栽培品種は何か最適か。どんな設備が必要か。【農業生産者】
A5: 自分のスタイルや、既に持っている販路などを考慮した作物選定が良い。相談者の地域の有識者を紹介。
- Q6: 培養液組成を変更した時の影響などについて【農業生産者】
A6: 養液土耕を行っている相談者に対し、有機物の投入により、組成やECが変化した時のギャップを緩和できるなど説明。
- Q7: 人工光で栽培可能な作物について【植物工場事業者】
A7: 植物工場における生産物のトレンドと最新知見を説明。レタス以外の作物について、意見交換を行った。
- Q8: 水耕栽培(NFT)で栽培棚に養液成分の粉が付着してしまう。対策は?【植物工場事業者】
A8: 栽培棚の洗浄方法について説明。タンクにも汚れが付着するので、同様に対処するよう助言。
- Q9: 知人が小規模で農業をやっており、今後自分も一緒に働く。ハウスを建設するのに使える資金口はあるか。【農業参入希望者】
A9: 資金制度を紹介、ただし、現在農業をされている知人が借入主体になる必要がある。
- Q10: 新規就農の際の融資制度について【農業参入希望者】
A10: 新規就農者向け資金メニューについて説明。最寄りのJAおよび、農政事務局への相談を案内。
- Q11: 老朽化施設の更新や、休眠農地活用、空きハウスの修繕等への資金・補助金について【農業生産者】
A11: 認定農業者向けの公庫資金メニューを案内。
- Q12: 春先の朝に、結露でハウレンソウが収穫できない。対策法は?【農業生産者】
A12: ヒーターの加温時間、換気のタイミング等を具体的に提案。
- Q13: 長崎県での現場指導の具体的な内容について知りたい。【国・自治体】
A13: モニタリング機器の導入農家へのフォローを具体的に説明。リモートの検討会などの事例も紹介。

8 併催行事

GPEC主催者セミナー

7月20日(水)	[GP-01] 10:30~11:15	みどりの食料システム戦略の実現に向けて	農林水産省 大臣官房技術総括審議官	川合 豊彦 氏
	[GP-02] 11:30~12:15	カーボンニュートラルに貢献する植物生体情報活用型施設生産	豊橋技術科学大学大学院工学研究科機械工学系 教授/愛媛大学大学院農学研究科 教授	高山弘太郎 氏
	[GP-03] 12:30~13:05	ピーマン自動収穫ロボットの普及を通じた「100年先も続く持続可能な農業」の実現	AGRIST(株) 最高技術責任者	秦 裕貴 氏
	[GP-04] 13:20~13:55	施設園芸のペースメーカー『IoP(Internet of Plants)クラウド「SAWACHI」』の仲間になりませんか!	高知県庁 農業振興部・IoP推進監	岡林 俊宏 氏
	[GP-05] 14:10~16:40	シンポジウム		
	各次世代拠点におけるカーボンニュートラル	コーディネーター 農研機構 野菜花き研究部門 研究推進部長 JFEエンジニアリング(株) βセンター J事業育成ユニット スマートアグリグループ (株)デ・リーフデ北上 総務部長 (株)サンファーマーズ SFI総合研究所 所長 (株)タカヒコアグロビジネス(愛彩ファーム九重) 専務取締役	東出 忠桐 氏 柳田 弘毅 氏 阿部 淳一 氏 石戸 安伸 氏 松尾 崇史 氏	
	[GP-06] 10:30~11:15	カーボンゼロに向けた施設園芸/植物工場のエネルギー・品種戦略	(公財)園芸植物育種研究所 理事長	丸尾 達 氏
7月21日(木)	[GP-07] 11:30~12:15	大規模施設園芸・植物工場の実態調査結果および世界の植物工場における最新動向	特定非営利活動法人 植物工場研究会 副理事長/企画・国際部長	林 絵理 氏
	[GP-08] 12:30~13:40	スマートアグリカルチャー磐田におけるパブリカの生産/販売を通じたバリューチェーン構築	(株)スマートアグリカルチャー磐田 取締役 農場長	上村 翔 氏
	SDGsへの取り組み	うれし野アグリ(株) 代表取締役社長	辻 保彦 氏	
	[GP-09] 13:55~15:05	キュウリの環境制御技術を生かした担い手育成	きゅうり屋さん(キュウリ生産農家)/JAさがみどりトレーニングファーム講師/県農業大学校特任講師	山口 仁司 氏
	ゆめファーム全農の取り組みと、今後の展望について	全国農業協同組合連合会 耕種総合対策部 施設園芸企画室 室長	吉田 征司 氏	
	[GP-10] 15:20~16:30	あなたの目標実現のためにできること~施設園芸での実践的な知識と技術を習得するための考え方~	(株)デルフィージャパン ホーティカルチャースペシャリスト	斉藤 章 氏
Web上のデータでわかる青果物流通の変化と対応	オイシックス・ラ・大地(株) ロジスティクス本部	阪下 利久 氏		
7月22日(金)	[GP-11] 10:30~11:30	海外WEB講演		
	米国の施設園芸事情	オハイオ州立大学 教授	久保田智恵利 氏	
	[GP-12] 11:45~12:30	福島震災復興と施設園芸	国立大学法人 福島大学 農学群・食農学類 農業生産学コース 准教授	深山 陽子 氏
	[GP-13] 12:45~13:55	JAながさき西海でのデータ活用とイチゴ多収事例	長崎県東北振興局 農林部 北部地域普及課 主任技師	松本 尚之 氏
	環境制御技術を活用した小中規模施設 トマト・イチゴの経営事例	(株)東馬場農園 代表取締役	東馬場伶司 氏	
	[GP-14] 14:10~14:45	苗生産自動化の現状と近年の育苗技術	ベルグアース(株) 取締役兼COO(最高執行責任者) 兼 研究本部長 兼 研究開発部長	清水 耕一 氏
	[GP-15] 15:00~15:35	ウーマンメイクの農業経営	ウーマンメイク(株) 代表取締役	平山 亜美 氏
	[GP-16] 15:50~16:25	都市農業から持続可能な農業経営を考える	ネイバーズファーム 代表	川名 桂 氏

スマートアグリ ジャパン主催者セミナー

7月20日(水)

15:00～15:45 [SA-01] 植物工場産業の成長戦略とスマートアグリ事例紹介

(一社)日本植物工場産業協会 代表理事 稲田 信二氏

7月21日(木)

14:00～14:45 [SA-02] WAGRIを介した露地野菜の生育予測情報提供基盤(NARO生育・収量予測ツール)構築の取り組み

農研機構 野菜花き研究部門 露地野菜花き生産技術グループ グループ長 佐藤 文生氏

7月22日(金)

13:00～13:45 [SA-03] スマート農業実証プロジェクトにおけるスマート農業の活用事例

農研機構 野菜花き研究部門 研究推進室 浦上 敦子氏



聴講者の声

セミナー・プレゼンテーションを聴講した感想は？

- ・関心のあった内容の講演を実際に聞いてよかった。【農業生産者】
- ・内容が分かりやすく、農業に希望がもてた。【農業参入希望者】
- ・具体的な栽培事例を聞くことができ、わかりやすかった。【研究機関・試験場】
- ・実例を交えた新規参入の苦労を理解することができた。【植物工場参入希望者】
- ・動画を使っでの説明がわかりやすかった。【農業生産者】
- ・オンラインで海外の情報を知ることができて有意義だった。【農業施設・資材関連企業(メーカー)】
- ・農業のDXについて詳しく知ることができた。【農業参入希望者】
- ・設備や装置の特徴がわかりやすい。【農業参入希望者】

次回、どのようなテーマ・分野のセミナーを希望しますか？

- ・最新の製品・技術を使用したの栽培事例【農業生産者】
- ・生産者視点での営農事例【農業生産者】
- ・植物工場の海外事例【植物工場事業者】
- ・スマート農業による技術革新【農業参入希望者】
- ・ゼロから農業参入した企業のスタートプランニング【農業参入希望者】
- ・農産物の輸出【植物工場事業者】
- ・農業界の未来、具体的にどのように動けば良いのかなど【農業生産者】
- ・鮮度保持【農業施設・資材関連企業(メーカー)】

8 併催行事

出展者プレゼンテーション

7月20日(水)

10:30~11:00	[EX-01]	高抗酸化値(約10倍)×低硝酸 ~植物工場生まれの健康野菜~	(株) 恵業&菜 健康野菜
11:15~11:45	[EX-02]	農業デジタルトランスフォーメーションを実現 ~県型プラットフォームの活用事例~	ネボン(株)
12:45~13:15	[EX-03]	農業への新規参入をご検討の方必見! 印刷会社が参入した際の事業企画とその展開とは?	小林クリエイト(株)
13:30~14:00	[EX-04]	東都興業が提案するスマート農業対応型自動巻上げ換気装置と水耕栽培システムについて	東都興業(株)

7月21日(木)

10:30~11:00	[EX-05]	~オランダと日本の環境制御システム比較~ 日本の施設園芸に最適な環境制御システムのご紹介	イノチオグループ
11:15~11:45	[EX-06]	農業デジタルトランスフォーメーションを実現 ~県型プラットフォームの活用事例~	ネボン(株)
12:00~12:30	[EX-07]	プロの目で発芽状態を素早く判断 ~誰でも簡単に使えるAI発芽検査のご紹介~	NTTテクノクロス(株)
12:45~13:15	[EX-08]	キュウリ養液栽培プラント「スプレーボニック®」の特徴および導入事例の紹介	カネコ種苗(株)
13:30~14:00	[EX-09]	青果物流通サービス「ブルーマーケット」が切り拓く青果物の新たな価値と可能性	(株) 誠和
14:15~14:45	[EX-10]	十分な光合成をしているのかがわかります ~最新の光合成活性測定手法の紹介~	メイワフォーシス(株)
15:00~15:30	[EX-11]	農業への新規参入をご検討の方必見! 印刷会社が参入した際の事業企画とその展開とは?	小林クリエイト(株)

7月22日(金)

10:30~11:00	[EX-12]	頑丈! 組み立て容易! 風にも強い! 単管パイプを骨組みに採用したパイプハウスについて	日建リース工業(株)
11:15~11:45	[EX-13]	農業デジタルトランスフォーメーションを実現 ~県型プラットフォームの活用事例~	ネボン(株)
12:00~12:30	[EX-17]	施設野菜の生育収量予測APIの概要と現在の取り組み	(国研) 農研機構 野菜花き研究部門
13:30~14:00	[EX-14]	東都興業が提案するスマート農業対応型自動巻上げ換気装置と水耕栽培システムについて	東都興業(株)
14:15~14:45	[EX-16]	「その測定値、大丈夫ですか?」~センサ選定徹底解説!~	(株) アイエスエイ
15:45~16:15	[EX-15]	青色光で高速栽培、全ての植物工場(新設、既設)の生産性と収益力の向上を実現	グリーンテック&ラボ(株)



出展者交流会

日 時 2022年7月20日(水) 17:30~19:00

会 場 東京ビッグサイト内レストラン

1. 開会の辞

2. 主催者挨拶・乾杯

(一社)日本施設園芸協会 顧問 篠原 温

3. 食事・歓談交流

4. 主催者 新体制紹介

5. 中締め

GPEC2022実行委員長

(公社)園芸植物育種研究所 理事長 丸尾 達



9 来場誘致

主催者および事務局は、様々な広報活動を行った。

●業界紙誌への広告・記事掲載

生産者に広く講読されている業界紙誌を中心に、来場誘致広告を掲載。また、業界関連媒体各社に、GPEC Newsやプレスリリースを送付し、展示会の最新情報を発信。さらに会期1か月前には記者発表会を実施し、展示会の概要やみどころなどの情報提供を行うことで、各種媒体の記事掲載を働きかけた。

広告・記事掲載：日本農業新聞、農業共済新聞、農機新聞、農村ニュース、全野研ニュース、日本農林新聞、施設と園芸、現代農業、園芸新聞、農経新報、農業資材通信、空調タイムス、熱産業経済新聞(順不同・一部抜粋)

●WEB

GPEC、スマートアグリジャパンの両公式サイトでは、主に出展者情報をはじめ、セミナーやイベントなどの情報を発信。公式サイトの出展者情報ページには、展示製品の写真・紹介動画の掲載や、カタログダウンロードなどの機能を追加。会期前からより詳細な情報収集をできるように機能を拡充した。WEBからの事前来場登録を促し、同時にセミナー聴講登録も受け付けることで、閲覧者の来場意欲を喚起づけた。また、幅広い層に向けた情報発信を念頭に、農業関連の情報を扱うWEB媒体にも開催告知記事やバナー広告を掲載。あわせて農業分野にターゲットを絞ったリスティング広告を掲載することで、新規の来場誘致にも注力した。

●メールマガジン

過去来場者、事前来場登録者などを中心にメールマガジンを定期的に配信した。出展者の情報に加え、セミナーや主催者コーナーなどの併催行事の情報発信も行い、当日の来場誘致につなげた。また、業界関連媒体が配信するメールマガジンにも展示会情報を掲載。来場層の拡大につながった。

●招待券

出展者一覧やセミナースケジュール、併催行事など、展示会の魅力を余すことなく掲載した招待券を作成。主催者、出展者、後援、協賛団体、関係者を通じて、来場対象となる農業生産者を中心とした全国の業界関係者等に大量配布した。



GPEC

Greenhouse Horticulture &
Plant Factory Exhibition / Conference

施設園芸・植物工場展

Smart Agri Japan

スマートアグリ ジャパン

次回開催

2024年7月

東京ビッグサイト [予定]

— 2023年・秋 出展募集を開始予定 —

出展に関する詳細は事務局までお問い合わせください。

ダイジェストムービー

開催の様子はこちら



お問い合わせ先

施設園芸・植物工場展(GPEC) 事務局
スマートアグリ ジャパン事務局

〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-4-2 大同生命霞が関ビル4F

TEL : 03-3503-7703 FAX : 03-3503-7620 MAIL : ofc@gpec.jp

www.gpec.jp

www.gpec.jp/saj/